

令和2年度 桜丘中グループ

小中連携研修会実施報告

1 令和2年度の小中連携研修会について

(1) 研究構想

【小中連携研修会の目的】

小・中学校の円滑な接続のために、小学校と中学校が連携を深め、9年間の学びの連続性を追求することを通して、確かな学力の育成や生徒指導等の充実を図る。

【昨年度までの成果と課題】

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none">○ 授業参観を通して、普段見ることができない中学校の授業の様子や生徒の様子を見ることができた。教科指導についての意見交換を行うこともできてよかった。○ 話合いの時間を確保できたことで、各学校での取組状況や児童・生徒の実態を確認することができた。○ 共通実践事項を全職員に提示することができた。	<ul style="list-style-type: none">・ 授業時数の確保が厳しい中で、どのように小中連携を充実させるかが難しい。・ 例年より分科会の話合いの時間が確保できたが、それでもまだ短い。・ 共通実践事項をなかなか各学校で実践につなげることが難しい。・ より日常的に小中の職員が連携をとれる場の確保が必要。

【令和2年度の小中連携実施上の課題】

- ・ 3校の全職員が集合した会を開くことが難しい現状にある。

【令和2年度 小中連携 研究主題】

中一ギャップの解消を図る小中連携の在り方

～児童・生徒の不安感に寄り添った実践を通して～

【研究主題について】

今年度は各校の職員が一堂に会し、研修を行うことが難しい状況である。また、これまでの本会では、教師の考える「中一ギャップ」に基づきその解消について協議を行ってきたが、児童の意識調査を実施したことはない。この機会に、各校の小学校6年児童・並びに中学校1年生の生徒の意識調査を実施し、児童の不安感がどこにあるかを把握した上で、各校での指導方法の工夫について考えたい。

【研究方法】

- ・ アンケート作成・実施 → アンケート分析
- ・ 結果に基づく対応についての話合い・実践
- ・ 成果と課題のまとめ

次年度の小中連携研修会へ

(2) アンケート概要

各校の児童には以下の設問で、アンケートを実施した。

【実施期日：令和2年5月上旬】

対象：桜丘中学校1年生125人 桜丘西小学校6年生77人 桜丘東小学校6年生76人】

1 中学校での学習について

次のことについて、どんな思いをもっていますか。(とても楽しみ・少し楽しみ・少し不安・とても不安)の選択肢の中から一つ選びましょう。

- ・学習の内容
- ・教科ごとに教える先生が変わること。
- ・英語(外国語)の授業が増えること
- ・テスト勉強
- ・テストで順位が出ること。
- ・宿題
- ・部活(自分のしたいこと)との両立。

中学校での学習について他に心配なことがあったら、書いてください。

2 中学校での生活について

次のことについて、どんな思いをもっていますか。(とても楽しみ・少し楽しみ・少し不安・とても不安)の中から一つ選びましょう。

- ・友達と関わること
 - ・先輩と関わること
 - ・友達とのラインやメールのやりとり
 - ・給食
 - ・先生との関わり
 - ・校則(学校のきまり)
 - ・登下校
 - ・部活動
- 中学校での生活について他に心配なことがあったら、書いてください。

(3) アンケート分析結果

学習面について

- ・ 「テスト勉強」や「テスト後の順位発表」について、児童・生徒が不安に感じている。
 - 小学校では単元ごとに市販のテストを使用しテストが実施されている。カラーで印刷された問題用紙にそのまま解答を書き込む点も、教師が課題を作成し、解答用紙を用いて解答していく中学校のテストと大きく異なる点であると言える。中学校では中間考査・期末考査の期間が定められ、範囲の広い内容について短期間でテストが実施される。実施方法の違いに、児童・生徒は戸惑っているようである。

また、中学校ではテスト実施後に、学年順位や偏差値が示される。小学校在籍中に順位や偏差値が学校から示されることはない。年度初めに実施される「NRT 学力検査」で、全国の通過率と自身の通過率を知る程度である。これらのことが「テスト後の順位発表」に対する戸惑いにつながっているようだ。
- ・ 宿題について、不安感を抱える児童・生徒が多かった。
 - 児童・生徒にとって宿題は、日常の学校生活と直結する身近な問題である。小6児童が大きな不安を感じていることから、中学校での宿題の課題を意識した、小学校での内容の積み上げが必要となる。「家庭学習の手引き」について各学校間で確認し、家庭学習の在り方について検討していくことが必要であると考ええる。

生活面について

- ・ 「校則」に対する不安や大変さを感じている児童・生徒が多い。
 - 小学校にも生徒指導上のきまりがあるが、中学校の「校則」との違いを見比べ、児童・生徒の戸惑いを減らしていくよう検討することも必要である。
- ・ 「友達との関わり」よりも「先輩との関わり」や「先生との関わり」に小6児童は不安感を抱き、中1生徒も大変さを感じていることが分かる。
 - 「敬語」や「丁寧語」の使用が児童・生徒にとって戸惑いを感じる要因の一つとなっているようだ。場に応じた行動や言葉遣いについて意識して継続的に指導していく必要がある。

- ・ 「登下校」について、大変だと答える生徒が「校則」が大変だと答えた生徒の次に多かった。
 - 桜丘東小の卒業生にとっては、学校までの通学距離が変わることから、大変だと感じることは想像できる。一方で、ほとんど通学距離が変わらない桜丘西小の卒業生も登下校についての「大変だ。」と感じている。今回の自由記述欄では、6人の生徒が「かばんの重さ」について「大変だ」と答えている。小学校を訪れる生徒からもよく聞くことである。対応が必要なことなのか、現状のままで良いのか、検討してみる価値がある。

(4) 各校での実践事項についての話し合い

上記アンケート結果を受け、各校の「家庭学習の手引き」、「生活のきまり（校則）」、中学校の「テスト実施のきまり」を見比べ、今後の対応について各学校で協議を行った。今後の対応についての協議結果は以下の通りである。

	学習面	生活面
桜丘中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭学習90分の実施の呼び掛け ・ 家庭学習の習慣化について、家庭への啓発（PTA・学級通信） ・ 家庭学習の個別対応（学習につまづいている児童への対応） ・ 定期テスト前の過去問テストの実施（中学校へのテストへの慣れ） ・ 計画的なテスト対策課題の配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「中学生らしい」という表現の見直し（具体的に、写真も活用して示す） ・ 小学校での「学校生活のきまり」をどれだけ守ることができているのかについての実態把握 ・ SNSの使用についての家庭への啓発
桜丘西小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「家庭学習の手引き」の完全実施丁寧な見届け。確実な実施。（児童の家庭学習にかかる時間の把握） ・ 基礎学力の定着 ・ テストの受け方を参考に、学期末テストの受け方の検討（名簿順に並んで実施、中学校のきまりの活用） ・ 中学校の授業見学の機会設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現時点でできることからの指導 例：「靴下の長さ」についての指導の徹底 ・ 保護者への意識啓発（下着・靴下についてなど、早めに中学校の校則を知らせ保護者へも意識付ける。） ・ 敬語の使い方についての指導（目上の人への正しい言葉使いの指導） ・ SNS、オンラインゲームの実態把握（保護者への啓発、情報モラルの指導）
桜丘東小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自信をもって取り組める学力の育成 ・ 宿題の量・質を調整。→中学校での家庭学習について動画を活用した説明 ・ 宅習帳の活用。（モデルの提示） ・ 課題の丁寧な見届け→徹底したやり直し→考える力の育成 ・ 小学校での出前授業。 ・ 既習事項の定着。 ・ 正しく、丁寧に、速く視写 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 帰宅後の時間の使い方への指導 ・ ルール（校則）について、語り合える雰囲気作り ・ 親子でSNSとの付き合い方について考える場の設定。（スマホ教室の活用） ・ 小6同士や中1との手紙等による交流 ・ 中学校の校則を意識した指導（共通項目の見直し、規則厳守についての指導） ・ 中学校の先生へ質問する機会の設定 ・ 情報モラルを含む情報教育の充実、推進 ・ 体験入学の実施

(4) 成果と課題

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ○ アンケートを実施し、児童・生徒の抱える不安感について把握することができた。 ○ アンケート結果を基に、各校で今後の実践事項について検討することができた。 ○ 三校で「学習のきまり」や「家庭学習のきまり」、「生徒指導上のきまり（校則）」を交換し、各校の内容を把握することができた。 ○ 小学校にはない「テスト実施上のきまり」が中学校に存在することを確認することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際の児童の姿を見ることや、職員で意見交換をすることができなかった。 ・ 実践事項について話し合いを行ったが、共通実践事項の設定を行うことが難しかった。 ・ 具体的な三校での実践事項（手紙での交流、中学校の先生への質問の機会の設定、中学校の先生からの説明の時間の設定）が上げられたが、実施には至っていない。 ・ 出前授業の実施や小6児童による中学校の授業参観などの実施についての意見が小学校側から出された。具体的な実施時期・方法について今後検討していく必要がある。

5 来年度（令和3年度）小中連携研修会について

(1) 研究計画

期日	会名	場所	内容等
5月 7日（金）	第1回小中連携研修推進委員会	桜丘東小	研修会の運営計画立案
5月24日（月）	小中連携研修会	桜丘東小	授業参観及び研究協議
8月 4日（火）	第2回小中連携研修推進委員会	桜丘東小	振り返り、共通実践事項検討
1月19日（水）	中学校入学説明会	桜丘中	児童・保護者への入学説明会
2月 1日（火）	第3回小中連携研修推進委員会	桜丘西小	まとめ、次年度日程、テーマ検討など
3月24日（木）	小中連絡会	桜丘中	クラス編成・引継等

(2) 研修テーマ（案）

中一ギャップの解消を図る小中連携の在り方

～児童・生徒の不安感に寄り添った実践を通して～

今年度行ったアンケートと同一内容でのアンケートを実施し、来年度中学1年生になる生徒の意識の変容について確認してはどうだろうか。特に、今回多くの児童が不安だと捉えていた内容について、小学校との違いをどのように捉えたのかを確認するための設問を増設し、詳細な分析及び共通実践につなげていくことが重要であると考え。（第6・7項に素案を添付）

なお、令和2年度の小中連携研修会の中では、各校で様々な取り組みについての具体的な案が出された。特に3校での連携が必要となる実践事項（出前授業・小6児童による授業参観・校則についての説明会・質疑タイム・中学生と小学生との交流など）について意見交換を行い、具体的な実施へとつなげていくことができればと考える。

(3) 研究の視点（案）

I	「学習上の不安感に寄り添った指導の在り方」（世話役：桜丘西小）
	・ 家庭学習の在り方、テスト実施についての情報交換→共通実践事項設定
II	「学校生活上の不安感に寄り添った指導の在り方」（世話役：桜丘東小）
	・ 学校生活のきまり（校則）、SNS等の指導についての情報交換→共通実践事項設定
III	「特別な支援を必要とする児童・生徒の不安感に寄り添った指導の在り方」（世話役：桜丘中）
	・ 児童・生徒の実態、支援方法についての情報交換→共通実践事項設定

3 その他

今年度はコロナ禍ということで、これまでとは全く異なった状況での小中連携研修会となった。

以下の点について、来年度への引継ぎ事項とする。

ア 研修テーマについては、来年度の推進委員会で変更もあり得る。

イ アンケート実施についても、来年度の推進委員会で協議し決定する。

イ 現時点では、東小学校での授業参観を想定した小中連携研修会を設定しているが、新型コロナウイルスの感染状況次第では、実施方法についての変更もあり得る。

ウ 会場校、分科会の世話役は、次のように輪番で行う。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
当番校	桜丘東小	桜丘中	桜丘西小	桜丘東小	桜丘中
学習指導	桜丘東小	桜丘中	桜丘西小	桜丘東小	桜丘中
生徒指導	桜丘中	桜丘西小	桜丘東小	桜丘中	桜丘西小
特別支援教育	桜丘西小	桜丘東小	桜丘中	桜丘西小	桜丘東小

《参考》 令和3年度 小6児童用実施アンケート（案）・・・今年度と大きく変更はなし

中学校進学に向けたアンケート（小学校6年生用）

このアンケートは、これから 中学校へ 進学する みなさんが、どんな 思いを もっているかを 確認するための ものです。今の あなたの すなおな 気持ちを 教えてください。

1 中学校での学習について

つぎの ことについて、どんな 思いを もっていますか。右の □の 4つ の 中から 一つ 選んで、○を つけましょう。

	とても楽しみ	少し楽しみ	少し不安	とても不安
学習の内容。				
教科ごとに 教える 先生が 変わる こと。				
英語（外国語）の 授業が 増える こと。				
テスト勉強。				
テストで 順番が 出る こと。				
宿題				
部活（自分のしたいこと）との 両立。				

中学校での学習について ほかに 心配な ことが あったら 書いて ください。

[]

2 中学校での生活について

つぎの ことについて、どんな 思いを もっていますか。右の □の 4つ の 中から 一つ 選んで ○を つけましょう。

	とても楽しみ	少し楽しみ	少し不安	とても不安
友達と 関わる こと。				
先輩と 関わる こと。				
友達との ラインや メール の やりとり。				
給食。				
先生との 関わり。				
校則（学校のきまり）。				
登下校。				
部活動。				

中学校での生活について ほかに 心配な ことが あったら 書いて ください。

[]

アンケートはこれで 終わりです。ありがとうございました。

